

平成28年度 第2回

鳥栖市文化財保護審議会

1. あいさつ
2. 議 題
鳥栖駅舎について
 - (1) 建築物調査概要報告
 - (2) 意見交換
 - (3) 他駅舎の取扱い事例
3. その他

日 時 平成28年9月23日(木)
午前9時30分～

場 所 鳥栖市役所2階第1会議室

鳥 栖 市 教 育 委 員 会

鳥栖駅舎について

■確認事項

対象:明治36年(1903)建築後、明治44年に増改築された駅舎

諮問内容:鳥栖駅舎の文化財としての価値の検証

※答申とは別に駅舎の活用についての提言

(1)鳥栖駅舎建築物調査概要報告

別紙資料

(2)意見交換

①建築文化財としての評価

参考:文化財の価値基準

・重要文化財(建造物)指定基準

次の各号の一に該当し、かつ、各時代又は類型の典型となるもの

- (一)意匠的に優秀なもの
- (二)技術的に優秀なもの
- (三)歴史的価値の高いもの
- (四)学術的価値の高いもの
- (五)流派的又は地方的特色において顕著なもの

・登録有形文化財登録基準

- (1)国土の歴史的景観に寄与しているもの
- (2)造形の規範となっているもの
- (3)再現することが容易でないもの

②歴史遺産としての評価

(3) 他駅舎の活用事例

保存活用方法	内 容	駅名	所在地	駅舎共用 開始年	廃止年	指定・登録	現状	備考
全体保存	・修復しつつ現位置での保存。	門司港駅	福岡県北九州市	1914年 大正3年	—	国重要文化財	駅	2012年～駅舎保存修理工事(～H30.3予定)
		長浜駅	滋賀県長浜市	1882年 明治15年	2006年 平成18年	鉄道記念物	旧長浜駅舎鉄道資料館	現駅舎(3代目)にデザインを踏襲
		室蘭駅	北海道室蘭市	1897年 明治30年	1997年 平成9年	国登録文化財 準鉄道記念物	観光案内所、休憩所等	1912年(大正元年)に現在地に移転。
移 築	・ほとんど全体あるいは保存価値の高いものや保存が可能な部分の移築、再現。	奈良駅	奈良県奈良市	1934年 昭和9年	2003年 平成15年	近畿の駅百選	観光案内所	曳家により移設
		二条駅	京都府京都市	1904年 明治37年	1990年 平成2年	市有形文化財 近畿の駅百選	京都鉄道博物館	曳家により移設
イメージ再現 (部材利活用)	・ほぼ同じデザインの建築物、工作物の新築(復元)。旧建築の部材を使うこともあり。 ・特徴的なデザインを模した築造。	上熊本駅	熊本県熊本市	1913年 大正2年	2006年 平成18年	—	市電駅舎(ホーム上屋)	一部移築
		小松島駅	徳島県小松島市	1913年 大正2年	1985年 昭和60年	—	公園内展示	跡地に整備された公園、蒸気機関車等と一緒に展示
		折尾駅	福岡県北九州市	1916年 大正5年	2012年 平成24年	—	部材保存、 駅舎の外観再現	計画
		東急電鉄 田園調布駅	東京都大田区	1923年 大正12年	2000年 平成12年	関東の駅百選 (復元後)	地下施設出入口	
		国立駅	東京都国立市	1926年 大正15年	2006年 平成18年	市有形文化財 関東の駅百選		復元可能な状態で解体保存。
資料保存 (イメージ再現)	・部材、装飾などを別の建築物、工作物などで利活用。 ・新駅舎、博物館、資料館などでの展示。	武蔵高萩駅	埼玉県日高市	1940年 昭和15年	2005年 平成17年	—	展示コーナー	新駅舎に緑色の瓦を使用したデザインを踏襲。 駅舎内に旧駅舎の瓦と車寄せの柱を使った展示コーナーを設置。
		直方駅	福岡県直方市	1910年 明治43年	2011年 平成23年	—	検討中	資料保存のうえ旧駅舎を解体。三角屋根など一部の復元について現在検討中。

平成 28 年 9 月 23 日

鳥栖駅駅舎の建築調査 中間報告

久留米工業大学 建築・設備工学科
教授 大森洋子

1. 調査概要

鳥栖駅駅舎の文化財的な価値を明らかにすることを目的に、建築調査を実施している。これまでも崇城大学の磯田教授による調査や鳥栖市史編纂のための建築調査は実施されているが、部分的な調査にとどまっている。駅が稼働中のため、今回も小屋裏の調査や壁をはがしての柱の位置の確認、及び基礎に関する調査は許可が得ず調査は不可能であるが、新たに外観の実測調査を実施し、これまでの調査資料、新たに発見された図面や古写真などを基に、建設当初の平面図、立面図、断面図の作製を行い、駅舎の建築の履歴と価値を明らかにする予定である。

2. これまでの調査の進捗状況

1) 実測調査の実施

- ①平成 28 年 7 月 22 日に大森研究室で鳥栖駅舎の実測調査を実施。8 月 3 日に補足調査。
- ②9 月 12 日 13 時から JROB の中原健吉氏、白水厚吉氏、松隈三郎氏、市役所 OB の大野健男氏に昔の鳥栖駅の姿についてヒアリングを実施した。

2) 収集した資料

- ①崇城大学の磯田研究室で実施された鳥栖駅調査の報告書と発表された論文
- ②鳥栖市史、「栖」などに記述された鳥栖駅関連資料
- ③鳥栖駅古写真
- ④宮内公文書館所蔵の大正五年幸啓録による駅舎平面図

3) 作成中の図面

建物の特徴と価値を明らかにするために実測調査と資料により、建設当初の平面図、立面図、矩計図を作製中。古写真や古図面から新しい知見が得られるたびに図面を修正。

4) 大正の初め頃の鳥栖駅の模型作製。

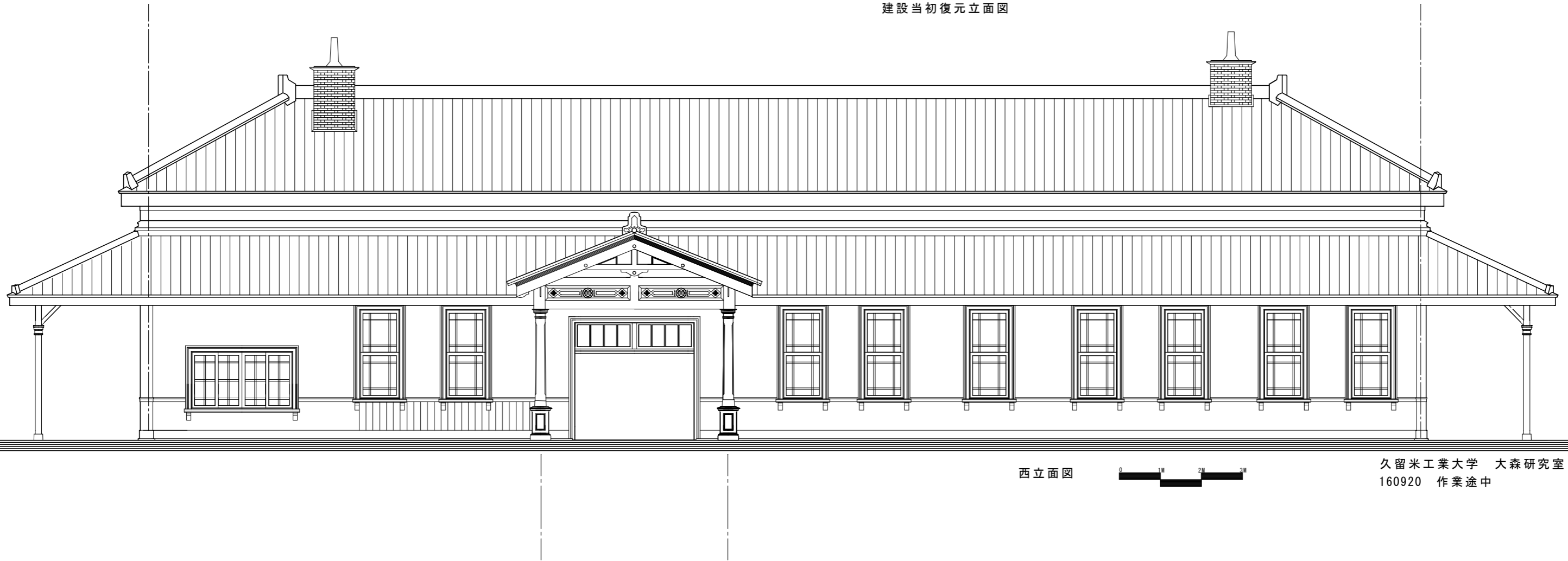
5) 建設年の特定

資料には明治 36 年に工事中、完成、或いは明治 37 年 6 月完成、供用開始とあり、現鳥栖駅の供用開始は明治 37 年 6 月だが、調査対象の主屋完成が明治 36 年か或いは 37 年か判然としない。棟木に建設年が墨書されている可能性があり、小屋裏の調査が可能であれば明確になるかもしれない。その後の南側に増築した年代や、一部 2 階建てに改築した年代を確認中。

3. 今後の予定

資料の分析と補足の实測調査から図面作製を行い、建物の文化財的価値を考察し、10 月末には報告書を完成させる予定。

鳥栖駅主屋
建設当初復元立面図

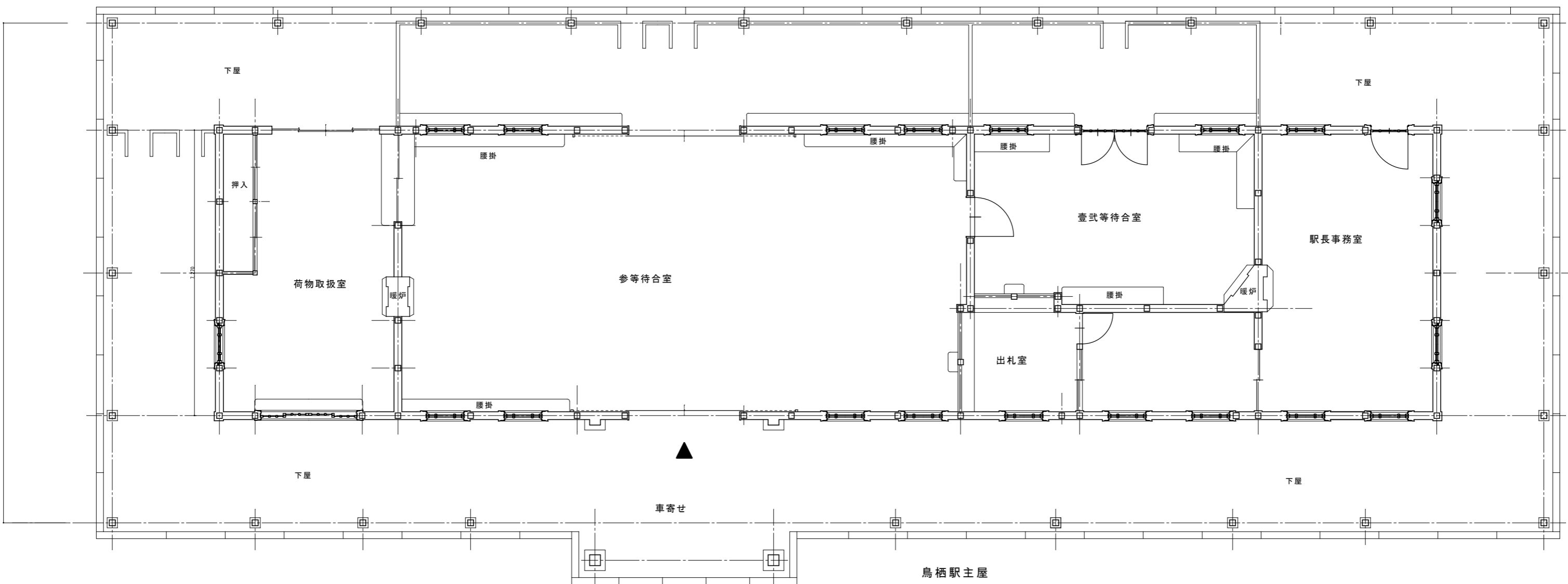


西立面図



久留米工業大学 大森研究室
160920 作業途中

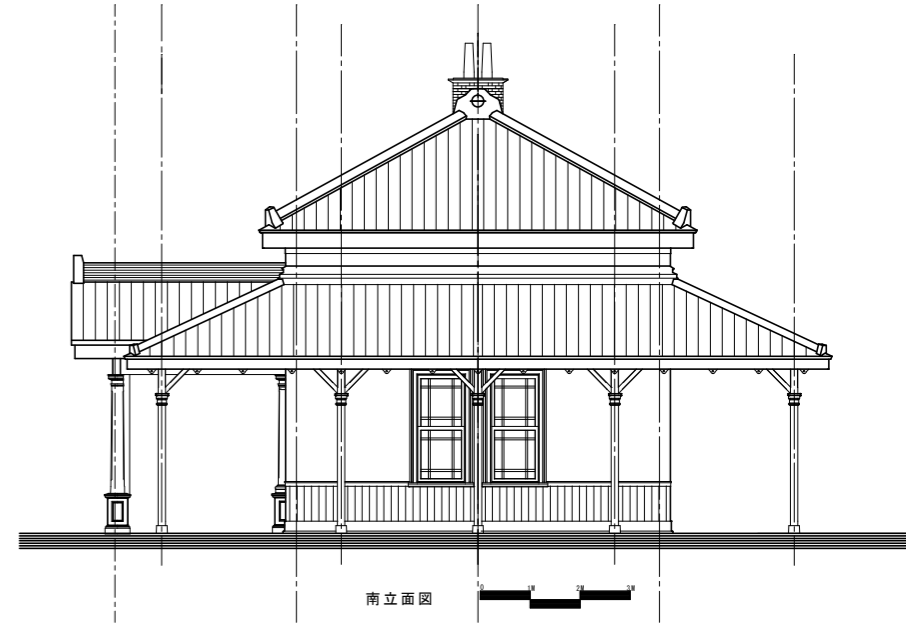
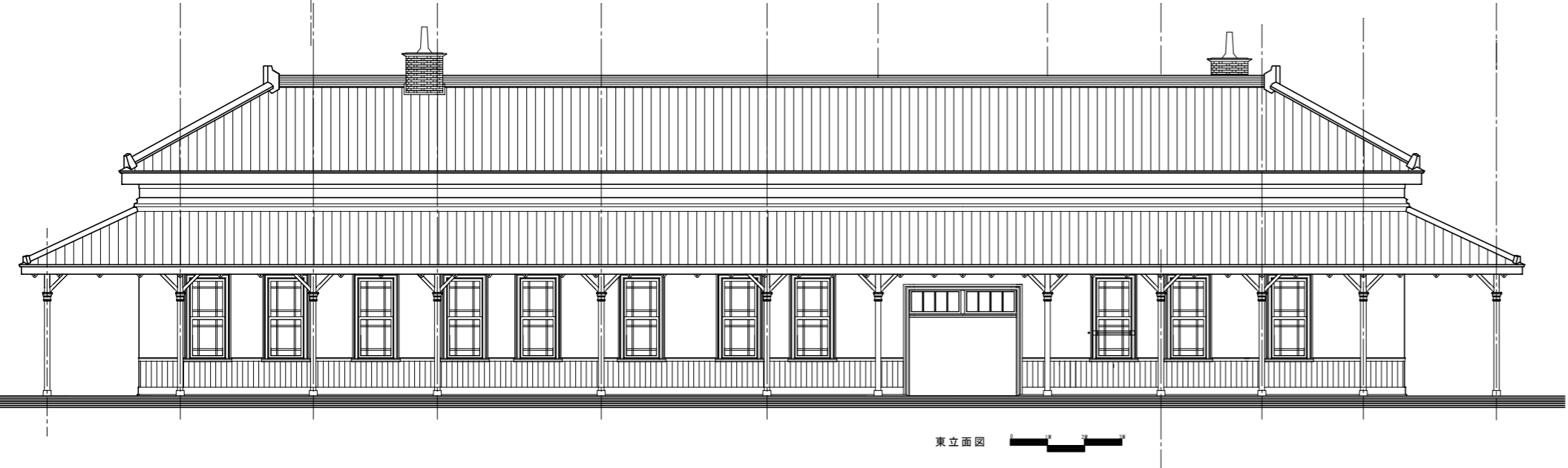
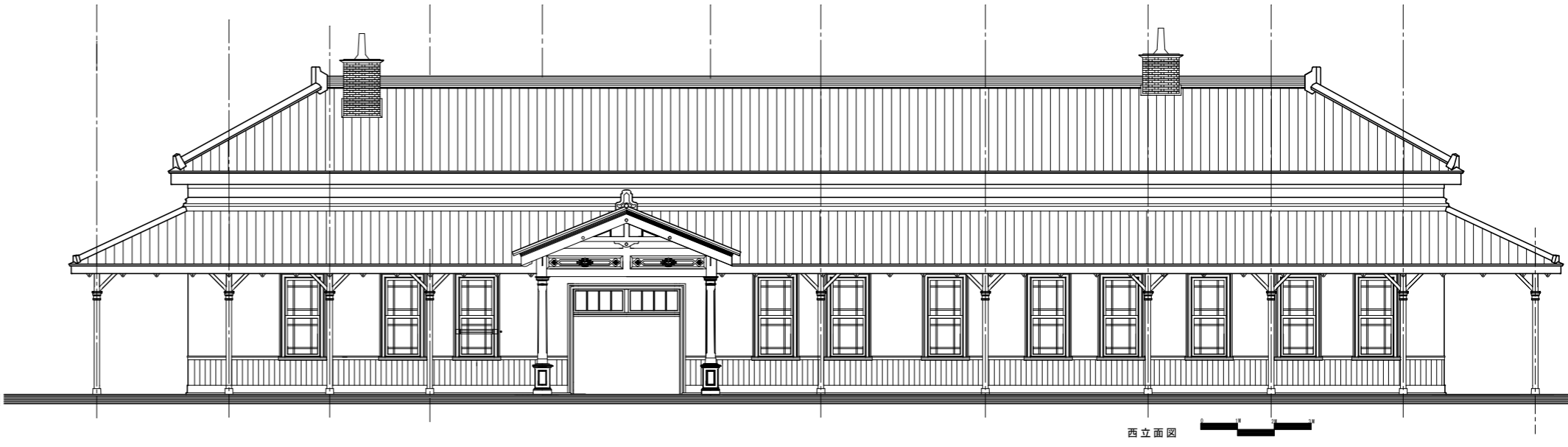
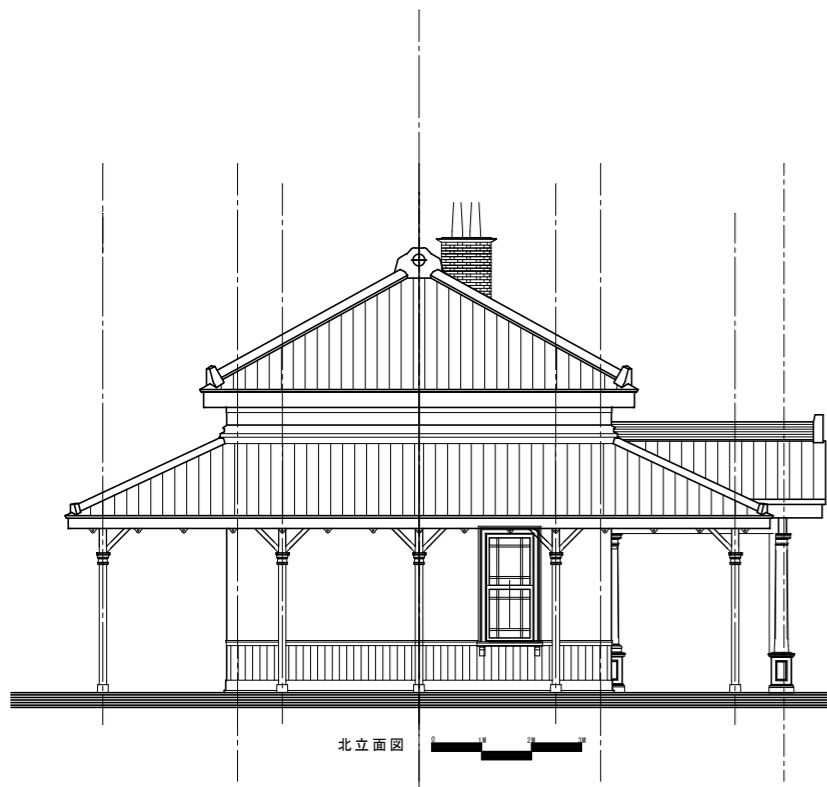
12.24

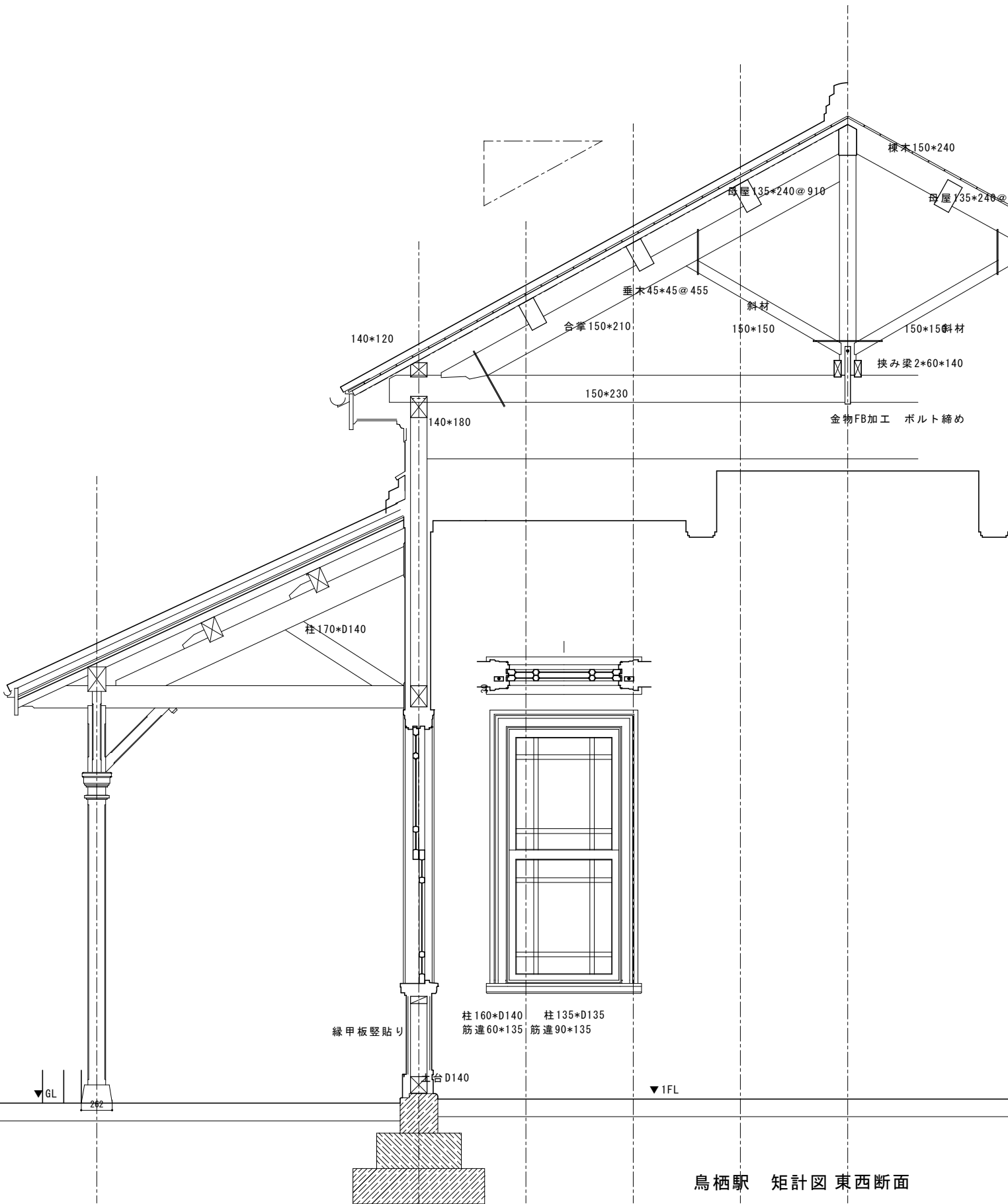


鳥栖駅主屋
 建設当初復元平面図
 面積 225.2973㎡ 68.15坪

久留米工業大学 大森研究室
 160920

鳥栖駅主屋
大正5年時復元立面図
久留米工業大学 大森研究室
平成28年8月25日





鳥栖駅 矩計図 東西断面

久留米工業大学 大森研究室

平成28年8月25日

